

第九十回
帝國議會
貴族院

隱匿物資等緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)特別委員會會議事速記録第五號

付記議案

○隱匿物資等緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)

昭和二十一年七月十九日(金曜日)午前十時二十分開會

○委員長(子爵秋元春朝君) 是ヨリ開會致シマス、前回ニ引續キマシテ御質疑ヲ願ヒマス、先ヅ委員カラノ御請求ニナリマシタ參考書ニ付テ政府委員カラ極ク概略ノ説明ヲ致サレタイサウデアリマスガ御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(子爵秋元春朝君) デハドウゾ

○政府委員(吉田悌二郎君) 前回ノ會議デ中山委員ヨリ御請求ゴザイマシタ資料ヲ御手許ニ差上ゲマシタノデ、御説明ヲ申上ゲマス、先ヅ國民更生金庫ノ分ニ付テ御説明致シマス、御手許ニ差上ゲマシタ此ノ表ハ、國民更生金庫ガ轉廢業者カラ資産ヲ引受ケマシタ其ノ處分ノ狀況ヲ一覽表ニシタモノデゴザイマス、半頁ノ紙ニ總括表ガゴザイマスガ、其ノ第一表ヲ御覽ヲ戴キマス、第一表ニ終戦後ニ於ケル引受並ニ處分狀況ト云フ表ガゴザイマス、四欄程ゴザイマスガ第二欄ニ昭和二十年八月末日現在ノ金額ト、第三欄ニ終戦後九月一

日カラ此ノ五月末日迄ノ處分ノ狀況ノ數字、第四欄ニ全部ヲ通算致シマシタ國民更生金庫ノ處分狀況ト云フ數字ガ書イテゴザイマス、最後ノ欄ヲ御覽願ヘレバ總計ガ分ル譯デゴザイマスガ、即チ昭和二十一年五月末日現在ニ於キマシテ國民更生金庫ガ轉廢業者ノ資産ヲ引受マケシタ總計ハ二十五億二千五百六十萬三千圓デゴザイマス、是ガ引受總額デゴザイマス、其ノ中既ニ處分ヲ致シマシタ金額ガ二十二億八千三百九十二萬三千圓デゴザイマス、現在未處分ト致シマシテ持ツテ居リマスル引受價格、引受ケマシタ價額ノ總計ガ二億四千六百六十八萬圓現在殘ツテ居ルノデゴザイマス、サウシテ其ノ殘ツテ居リマス引受價額ノ内譯ヲ第二表ニ書イテゴザイマス、此ノ二億四千六百六十八萬圓ノ内譯ハドウ云フ風ニナツテ居ルカト申シマスト營業權ガ其ノ中五十「パーセント」ヲ占メテ居リマス、所謂暖簾代ヲ見テ居ルノデゴザイマスガ、ソレガ一億二千八百四十四萬圓デゴザイマス、次ニ戰災ニ依ツテ罹災致シマシタモノガ十「パーセント」ゴザイマシテ、二千四百六十六萬八千圓ヲ占メテ居リマス、ソレカラ其ノ次ハ代金ノ未回收ニナツテ居ル物件、軍部等ニ轉用致シマシタケレ

ドモ、代金ヲ貰ツテ居ラヌモノガ四「パーセント」デゴザイマシテ九百六十六萬七千圓、是ガ主トシテ軍ニ轉用サレマシタモノデ、マダ代金ノ支拂ガナイト云フモノデゴザイマス、其ノ次ニ金屬ノ屑、「スクラップ」トシテ處分スベキ物件ガ十八「パーセント」占メテ居リマシテ、四千三百五十萬二千圓デゴザイマス、其ノ次ハ金屬以外ノ物デ、矢張り屑化處分ヲスル必要ガアルモノガ五「パーセント」程度デゴザイマシテ、一千二百八萬四千圓ニナツテ居リマス、ソレカラ轉用可能ノ金屬製物件ガ十「パーセント」程占メテ居リマシテ二千四百六十六萬八千圓デゴザイマス、同ジク轉用可能デ金屬以外ノ物ガ三「パーセント」ゴザイマシテ七百二十五萬一千圓、合計致シマシテ二億四千六百六十八萬圓ト云フ程度ノモノガ、現在更生金庫ニ殘ツテ居ル資産デゴザイマス、細カイ點ハ書イタモノニモ説明シテゴザイマス、次ニ産業設備營團ノ遊休設備ノ整理ニ關スル調査ヲ御説明致シマス、産業設備營團ガ企業整備ニ依リマシテ買受ケマシタ遊休設備ガ、色々ノ部門ニ互ツテ居ルノデゴザイマスガ、御手許ニ差上ゲマシタ一枚ノ表ノ一番左ノ欄ニ産業部門ノ名前ガ書イテゴ

ザイマス、一々朗讀ハ省略致シマスガ、「綿スフ紡績」以下約四十議目程部門ガ分ケテゴザイマス、其ノ第二欄ニ買受數量ハ總計「トン」數デ書イテゴザイマス、主トシテ「スクラップ」ニシタ關係デ「トン」數デ書イテゴザイマスガ、一番右ノ方ニ買受數量ノ總計ガゴザイマス、合計六十萬三千二百一十二「トン」ハ買受總數量ニナツテ居リマス、其ノ内「スクラップ」ト致シマシタ金屬回收會社等ニ産業設備營團カラ渡シマシタモノガ、五十七萬七千三百五十九「トン」ハト云フモノヲ既ニ屑化處分ヲ致シテ居リマス、サウシテ殘リマシタ二萬二千九百六十二「トン」ト云フモノハ、是ハ設備其ノ儘デ轉用致シマシタモノデ、設備トシテ轉用可能ノモノ、例ヘバ「モーター」デアリマスとか、「ボイラー」デアルとか、或ハ油「タンク」ト云ツタヤウナモノハ、其ノ儘使用ガ出來マヌノデ、之ヲ重點産業ノ方ハ營團カラ轉用ヲ致シタノデアリマス、從ヒマシテ産業設備營團ト致シマシテハ今日ハ、是等ノモノハ總計持ツテ居ラヌノデゴザイマス金屬回收會社、又ソレノ製鐵所其ノ他ニモ流レテ居リマスルシ、轉用可能ノモノハソレノ工場施設等ニ既ニナツテ居ルノデゴザイマ

ス、最後ニ交易營團ノ保有致シマシタ物資デ、終戦後處分致シマシタ物ノ内譯ノ御要求ガゴザイマシタ、大體此處ニ主ニ讓渡別ノ「パーセント」ヲ取リマシテ、表ヲ作リマシタノデアリマス、纖維製品等ニ付キマシテハ總計三億九千六百八十六萬九千圓ノ内、統制團體ニ讓リマシタモノガ八十九「パーセント」、輸出ガ七「パーセント」、其ノ他ノ團體等ニ渡シマシタモノガ四「パーセント」デゴザイマス、輸出ハ生絲デアリマス、農水產物ノ總計ガ五千九百七十七萬圓ニナツテ居リマスガ、前回差上ゲマシタ表ニハ千五百五十八萬一千圓ニナツテ居リマス、是ハ其ノ後木材ノ輸出ガゴザイマシタ爲ニ茲ニ四千八百萬圓程數字ガ増加致シテ居ルノデゴザイマス、統制會社其ノ他ニ參リマシタノガ一「パーセント」、輸出ガ八十一「パーセント」、主トシテ木材及ビ「ゴム」デゴザイマス、其ノ他ノ團體及ビ戰災援護會或ハ紅茶組合ト云ツタヤウナモノニ十八「パーセント」デゴザイマス、化學品ニ付キマシテハ、統制團體、統制會社等ニ出マシタモノガ八十「パーセント」、其ノ他特殊ノ團體或ハ農業會等ニ出マシタモノガ二十「パーセント」、機械類ニ付キマシテハ、

官廳や公共團體ニ行キマシタモノガ十三「パーセント」、統制團體ニ行キマシタモノガ二十一「パーセント」、進駐軍用ニ轉用致シマシタモノガ十三「パーセント」、其ノ他ノ團體、配電會社トガ、自動車會社ト云ツタヤウナモノニ五十三「パーセント」等ガ參ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ鑛產物及ビ同製品、主トシテ鐵鋼、工具類、非鐵金屬類デゴザイマスガ、統制會社等ニ參リマシタモノガ十三「パーセント」、其ノ他ノモノハ主トシテ斯ウ云フ鐵鋼等ヲ供出致シマシタ所ヘ還元シテ配給致シタ譯デゴザイマス、出シタ所ヘ、元ヘ戻シタヤウニナツタモノガ主デゴザイマシテ、是ガ八十七「パーセント」ヲ占メテ居リマス、雜貨類ハ千十七萬五千圓、其ノ他官廳や公共團體ニ六「パーセント」、統制會社等ニ十七「パーセント」、進駐軍ニ四十一「パーセント」、其ノ他ノ團體ニ三十六「パーセント」ト云フ比率ニナツテ居リマス、救急用物資ハ統制會等ニ五十七「パーセント」、其ノ他ノ團體、色々ナ統制團體等ヲ含ミマシテ四十三「パーセント」ト、合計四億九千二百二十一萬二千圓ト云フ内譯ニナツテ居リマス、以上デゴザイマス

○中山太一君 國民更生金庫ノ引受資産、終戦後ニ於ケル處分狀況ノ表ヲ一覽致シマシテ、又御説明モ承リマシタ、此ノ處分サレマシ

タ價格ト云フモノハドウ云フ——引受價格ガ基準ニナツテ居ルノデアリマセウカ、或ハ非常ニ物價ノ値上リガアリマシタカラ、サウ云フヤウナモノヲ見越シテ相當買入價格ヨリハ高イ標準デ處分シテ居リマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 更生金庫ノ引受價格ト云フノハ、此處ニモ説明ガデゴザイマシマス、大分營業權ヲ見テ買ツテ居リマスノデ、大分高ク買ツテ居リマス、從ヒマシテ之ヲ「スクラップ」化スルノガ大部分デゴザイマスルガ、サウ云フモノハ引受價格ヨリモ非常ニ安く拂下ヲ致シテ居ルガ大部分デゴザイマス

○中山太一君 御説明ノ通り暖簾代其ノ他ガアリマスガ、是等ノ總引受ノ五分位ニシカ相當シテ居ラヌヤウデアリマスガ、全部ノ色々ノモノヲ混ゼテモ相當高イモノデハナイノデアリマスカラ、是ハ若シモ價格ガ今ノヤウニ非常ニ騰ツテ居ル時ニナリマス、二倍、三倍或物ハ、鐵ダケデモ七倍、九倍ト云フヤウナ風デアリマスカラ、玆ニ大變ナ國民更生金庫ノ資産ニ變化ガアルノデヤナイカト思フ、唯其ノ儘買受價格デ御渡シニナツテ居レバ是ハ別デアリマスケレドモソレデ御尋ネシタ次第デゴザイマス、ソレカラ今一ツハ、此ノ更生金庫ノモノハ、企業整備ト云フ名目ノ下ニ、先祖傳來共ノ事業ヲ經

營シテ來、漸ク事業トシテモ成立チ、ソレカラ其ノ家族又、使用人ノ生活モソレデ確保サレテ居タモノガ、皆廢業シナケレバナラヌヤウニナツタガ、其ノ當時モ是ハ相當ナ方法ガアツタト思ヒマスルガ今更申シテモ仕方ノナイコトデアリマス、其ノ買受ケラレタ是等ノ施設、其ノ他ノ資材ハ相當有效ニ活用サレテ居ル、サレナケレバナラヌト思ヒマス、ドウ云フ狀況デゴザイマセウカ、一般ニソレ等ノ犧牲ヲ拂ツタモノニ直接報ユルコトハ出來ナイケレドモ、國家トシテハ一方ニ大キナ國民ガ損ヲシテ居ルケレドモ、一方ニハソレデ餘程大キナ貢獻ヲシタト云フコトニナツテ居リマセウカ、或ハ「ラジエーター」、「エレベーター」其ノ他ノ資材ヲ金屬回收デ取ラレタト同様ニ爲サナクテモ宜カツタ、全ク多クノ犧牲ヲ拂ヒナガラ無駄事デアツタ、或ハ外國人カラ見レバ餘リニ日本ノ官民共ニ近頃のニ無駄ナコトヲ繰返シタ、無知ナコトヲヤツテ居ツタト言ハレルヤウナ風ニ是モナツテ居ルノデアリマセウカ、御當局ノ之ニ對スル率直ナ御意見ヲ聽カシテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 此ノ企業整備ノ效果ニ付キマシテハ、今日カラ批評致シマスルト、仰セノ通り、ソレ迄ヤラヌデモ宜カツタカト思フ方面モアルノデゴザイ

マスルガ、併シ資材ノ少イモノト致シマシテハ、各種ノ資源ヲ有效ニ活用スルト云フ意味デ、企業整備ノ問題ト併セテ考ヘテヤリマシタ措置デゴザイマス、實情ヲ無視シテ色々ノ遺憾ノ點モゴザイマシタガ、相當金屬類等ニ付キマシテハ有効ニ働イタモノト考ヘテ居リマス、尙價格ノ點ハ、實ハ手許ニ細カイ數字ガデゴザイマセヌ、幾ラ拂下ゲタカト云フ數字ハゴザイマセヌガ、大體ハ元ノ機械ヲ機械ノ價格ト致シマシテ買入レマシテ之ヲ「スクラップ」トシテ賣ル譯デゴザイマスカラ、金庫ト致シマシテハ、非常ニ利益ヲ擧ゲルト云フヤウナ金額デハナイノデヤナイカト考ヘテ居リマス

○中山太一君 只今ノ御説明ノヤウニ、屑鐵其ノ他トシテ處分サレタ時ニハ反對ニナリマスカラ、相當損失モアルカモ知レヌ、然ラバ其ノ差損ト云フモノハ結局更生金庫ニハソレガ相當ニソレガアル等デスガ、今ドレ位ノ數字ニナツテ居リマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 國民更生金庫ガ毎年損失ヲ致シテ居ル金額ノ表ガアリマス、昭和十六年カラ仕事ヲ始めテ居リマスガ、昭和十六年ハ約十六萬圓程政府ガ國民更生金庫ノ損失補償ヲ致シテ居リマス、昭和十七年ハ二千八百五十二萬六千圓程、昭和十八年度ハ一億四千三百五十六萬七千圓餘

昭和十九年度ハ二億八千四百五萬二千圓餘損失補償ヲ致シテ居リマス、昭和二十年年度ハマダ計算ガ出來テ居リマセヌガ、是レ以上ノモノデアラウト考ヘマス

○中山太一君 企業整備ニ依ツテ回收サレタ中ニハ、菓子屋ナドノ木ノ箱トカ、蓋ナド、國民更生金庫ハ引受ケテモ置キ場所ニサヘ困ルト思ヒマスガ、形式デサウ云フモノヲ皆買入レタ、是ハ置イテモ邪魔ニモナルシ、又處分スル時ニハ全ク薪代ニモナルカナラヌモノデアリマスカラ、相當アルモノノ値上リノアル物ハ別デセウガ、ソレデナケレバ損ノ行クノハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、是ハ買受ケラレタ時カラ引受ケベカラザル物デアツテ、寧ロ其ノ者ニ殘シテ居ツテ宜イ筈デアツタ、ソレヲ杓子定規式ニヤツタノハドウカト思ヒマス、サウ云フ業者ガ持ツテ居テ活用スレバ非常ニ有效ナモノニナリマス、是ハ已ムヲ得ナイコトカト存ジマスガ、今後サウ云フコトハナイト存ジマスケレドモ、企業整備ヤ何ゾア、云フ時ニ流行的ニセズニ、モウ少シ科學的ニ、合理的ニ御檢討願ヒ、ソレカラ精神的ニモ其ノ整備サレル人ノ立場ニモウ少シ血ガアリ、涙ノアル御考慮ヲ願フト云フコトガ政治ノ要諦デハナイカト思ヒマス、モウ濟ンダコトハ仕方アリマセヌケレドモ、今後ハ一ツ立派ナ産業行政ヲ御願ヒ

シナケレバナラス、是ガ今後ノ日

本建直シノ時ノ一ツノ好イ參考ニ
ナレバト思ツテ居リマス、又疎開
ナドデモ企業整備ト疎開トヲ能ク
結び付ケテ、鐵工業ナドハ各町村
ニ一ツ、二ツ宛疎開シテ居レバ空
襲ニモヤラレナイシ、又餘剩努力
モ活用シテ生産ハ進ム、又斯ウ云
フ平和ニナツテモ役ニ立ツガ、戰
争ガ續イテモ役ニ立ツ等デスカラ
チヨツト先ヲ御考ヘ願ヒ、ソレカ
ラ又色々方面カラ科學的ニ檢討
シテ實フト、善處サルベキ方法ガ
澤山アツタト思ヒマスケレドモ、
是モモウ過ギ去ツタコトデアリマ
スカラ、今後ノ御施策ノ上ニ御考
慮願ヒタイト思ヒマス、政府ノ今
國民ノ更生金庫デナク、産業設備
營團、交易營團等ニアリマス是等
隱退藏物資ト言ウテハイカナイデ
セウガ、所有物資ガ相當アリマス
ル場合ニ、之ヲ活用ノ上ニ於テ遺
憾ナキヲ期シテ戴キタイ、殊ニ生
産ノ隘路ガ、資材ノ足りナイ爲ニ
生産ガ十分ニ行ハレナイト云フ場
合デアリマスカラ、幸ヒ政府ノ機
關トモ謂フベキ是等ノ營團ガ持ツ
テ居ル物ハ一層有效適切ニ御活用
願フヤウニ、又其ノ資材ヲ各方面
ノ關係業者ニ公開シテ貰ツテ、之
ヲ活用スルヤウナ方法ガアレバ、
業者ニ其ノ方法ノ檢討ヲシテ貰フ
サウスレバ一層生産促進上ニ貢獻
スル點ガアラウト思ヒマスガ、其
ノ點御當局ハドウ御考ニナリマス

カ、御方針ヲ承リタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 今日
資材ガ非常ニ逼迫シテ居リマス折
柄、營團等ノ統制團體ノ持ツテ居
リマス物ハ非常ニ貴重ナ品物デゴ
ザイマス、從ヒマシテ之ヲ現在ノ
我が國ニ於テ最モ有効ニ使フコト
ガ必要デアルト考ヘマス、從ヒマ
シテソレハ有ラユル方面ノ御協力
ニ依リマシテ我が國ガ最モ必要ト
スル方ニ有効ニ使ツテ行クト云フ
風ニ進メタイト考ヘマス、從ヒマ
シテソレノ關係ノ團體ノ意見モ
伺ツテ居リマスシ、今後モドシド
シ伺ヒマシテ、使用方法ニ遺憾ナ
キヲ期シテ行キタイト考ヘテ居リ
マス

○中山太一君 只今ノ御説明デ其
ノ點ハ能ク了承シマシタ、次ニ御
尋ネ申上ゲタイコトハ、交易營團
ノ保有物資ナリ、其ノ譲リ渡シ先
等ニ付テモ此處ニ資料ヲ戴キマシ
テ御説明ト此ノ表トヲ照シ合セマ
シテモ、大體相當ニ、其ノ關係、
業界、所謂組合トカ團體トカ其ノ
他ノモノニ是ガ處分サレテ居ルヤ
ウデアリマス、此ノ點ハ大變結構
ダト思ヒマスガ、中ニハ之ニ相反
シタ、其ノ組合業界等ニ關係ナク
不當ニ個人、甚シキ場合ナラバ係
官ト云ヒマスガ、職員トノ私的關
係ニ於テ不當ニ處分サレテ居ル物
モ少クナイヤウニ聞イテ居リマス
是等ハ先達テモ御答辯ガアリマシ
タカラ重ネテ承ル必要ハナイノデ

アリマスケレドモ、サウ云フ物ハ
一應隱退藏物資ノ此ノ制度カラ致
シマシテモ、當然サウ云フ間違ツ
テ終戦後處分ヲシタヤウナモノハ
全部回收サレテ、サウシテ業界ト
カ或ハ公正ナ意味ニ於テ再分配サ
ス、サウシテ此ノ産業各方面ノ生
産ノ隘路ニナツテ居ルモノ、之ニ
潤スト云フコトニサレナケレバナ
ラス、斯様ニ思ヒマスガ、サウ云
フヤウニシテ御進ミニナル御決意
デアルカドウカ、ソレカラ其ノ際
處分價格ガ不當デアルガ、是ハ營
業權ヤ其ノ他ニ關係シテ居リマセ
ヌ、非常ニ不當ナ買入價格ニハナ
リマセウガ、其ノ後ニ於テ販賣値
ガ上ツテ居ル物ガ、矢張りソレト
同等ナ價格デ終戦後ニ處分シテ居
ルト云フコトガアル、是モ如何カ
ト思ヒマス、今度ノ業界其ノ他ニ
處分サレル時ニモ必ラズシモ高價
デナクテモ、三倍四倍ニナツテ居
ル物ハ前ノ價格ヤ何カニ於テ處分
サレルコトガ政府ノ色々ナ損失負
擔モ補償モ輕クナリマスカラ、サ
ウ云フコトモ無理デナク當然今日
ノ相場カラ或程度負擔スベキモノ
ハ之ヲ是正シテ處置サレルコトモ
必要ダト思ヒマスガ、是等ニ對シ
テ先達テ御答辯ガアリマシタガ、
サウ云フヤウニナレバ誠ニ公明正
大ダト思ツテ居リマス、此ノ表デ
ハ個人關係デ處分サレタモノガ舉
ツテ居ラヌヤウデアリマスガ、サ
ウ云フ場合ニハ斷乎トシテ處理サ

レルト云フ御考デアルカドウカ改
メテ先ツ御伺ヒシタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 交易
營團ノ物資ノ拂下ニ關シマシテ不
正ノ問題ニ付キマシテハ、先般商
工大臣ノ御答ニナツタ通りデゴザ
イマス、若シ不正ニ處分サレテ居
ルト云フノガアリマスレバ、之ニ
對シテハ適正ニシナケレバナラス
ト考ヘテ居リマス、尙價格ノ問題
ニ付キマシテハ、是ハ拂下ゲマシ
タ當時ノ價格デ見ルヨリ仕様ガナ
イト思ヒマス、其ノ後値上リシタ
カラト云ウテ追徴スルト云フヤウ
ナコトニモ參リマセヌノデ、今後
ノモノニ付キマシテハ勿論最近ノ
公定價格ナリ時價ナリニ依ツテ拂
下ゲルモノト考ヘテ居リマス

○中山太一君 大臣ノ先達テ御答
ニナリマシタノハ矢張り本委員ガ
御尋ネシタヤウナ意味ニ合致スル
御處置ヲ遊バスト云フコトデアリ
マシタ、大變結構デアリマス、デ
價格ノ點ニ付キマシテハ當時ノ價
格ニト云フコト、是ハ隱當ナ話デ
アリマシテ、唯當時ノ價格ト云フ
モノガズツト違ツテ居ツテモ、其
ノ儘行ク場合モアル、此ノ點ハ此
處デ論争ニナルトイカヌデスカラ
略スルコトニ致シマス、不正ト云
フ時ニナリマス、是ハチヨツト
證據ヲ舉ゲルコトガ出來ヌコトデ
スカラ、不正ト云フ意味ニノミ取
ルベキデハナク、不當ト云フヤウ
ナ意味ノ、澤山ナ業者ガアリナガ
ラ一人ニ何等ノ理由ナク之ヲ渡ス
ト云フコトニナリマスレバ、ソレ
ハ不當ダト云フコトハ常識上カラ
モ考ヘラレマスカラ、不正デア
ル場合ニト云フコトヲ以テ、私ハ不
正者ヲ指摘ショウト存ズルノデハ
アリマセヌ、不當ナ處分デア
ルハ是ハ矢張り正當ニ處分サレ
ウニ御取計ヒサレルコトガ至當デ
ヤナイカト云フ意味デアリマスカ
ラ、ソレニ對シテノ御答ヲ戴キマ
スレバ非常ニ結構ダト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 澤山
ノ業者ノ中、特定ノ業者ニ資材ガ
渡ツテ居ルカドウカト云フコトハ
其ノ資材ノ用途ガ國家的ニ見テ最
モサウ云フ特定ノ人ニ譲ルコトガ
必要デアル場合モアルノデゴザイ
マモウト思ヒマスノデ、一概ニハ
一人ニ渡シタカライカヌト云フコ
トハ言ヒニクイカト思ヒマスガ、
澤山ノ他ノ同ジヤウナ資格ヲ持ツ
タ業者ノ方ガ居ラレル場合ニ於テ
ハ、之ヲ其ノ組合等ニ渡スト云フ
コトガ至當デアラウト考ヘテ居
マス、從ヒマシテ一人ニ渡シテア
ルト云フコトダケデ不當ト云フコ
トニハ政府トシテハ考ヘニクイカ
ト考ヘマス

○中山太一君 今ノ建築請負其ノ
他デモ眞面目ナ者ニハ指定入札デ
シモ個人デアツテ不當ト云フ譯デ
ハアリマセヌガ、假ニ輸出ヲシナ
イニ拘ラズ、過去ニ輸出シタト云

フヤウナ名義で理窟ツツケテ、終戦後一切ノ輸出ハシテ居ラヌニモ拘ラズ輸出シ、次ニ又追加シテ輸出シタト云フノデ一人ニ渡ツテ居ルモノガアル、全關係業者ガ共同シテヤラネバナラヌニ拘ラズ、サウ云フヤウナコトハ、私ハ職員ノ措置ガ不當ダト斷ジテ宜イモノト存ジマス、ソレデ今ノ相當ナ理由ガアリマス時ニハ御説ノヤウニ必ズシモ個人ニシタノミガイカヌト云フ譯デハアリマセヌ、是ハ御明斷ヲ願ツテ、サウ云フコトガ方々ニアルラシイ、ラシイト云フト何デスガ、大臣閣下ニモ話シマシタケレドモ、大臣ノ前デ隨分強イコトヲ言ツタ人モアリマス、司法大臣モ御列席ノ所デサウ云フコトガアリマシタ、本員ハ之ヲ、一々知ツテ居ルコトヲ指摘シテ、今日ノ委員會ノ御當局ヲ責メルト云フノデハナイノデアリマスカラ、大體ノ原則サヘ決レバ、後ハ御當局ガ國家ノ爲ニ極メテ公正ニ善處サレコトト存ジマスカラ結構デアリマス、善處シテ戴クト云フコトノ御考サヘ承レバ、私ハソレデ質問ヲ打切りタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 只今ノ點ニ付キマシテハ、商工大臣ノ仰セノ通りデアリマス、私共モソレト同ジヤウニ致シタイト思ヒマ

リマスノデ承リタイノデスガ、只今受取ツタ「終戦後ニ於ケル交易團體保有物資一覽表」ソレカラ先日戴キマシタ終戦以後放出シタ交易團體ノ保有物資、此ノ二ツノ表ヲ比較シテ見マスト、金額ト云フ欄ハズツト件名ニ對シテ數字ガ一致シテ居リマスガ、其ノ中ノ二番目ノ農水産物ダケ數字ガ違フノデアリマスガ、是デチヨット疑問ヲ起シタノデスガ

○政府委員(吉田悌二郎君) 是ハ五月三十一日現在ノ統計ヲ取ツタノデゴザイマスガ、其ノ後木材ノ輸出ガゴザイマシテ、農水産物ノ金額ガ殖エマシタノデ、殖エタ數字ヲ書イタノデアリマス、數字ヲ申上ゲマスト、木材ガ四千七百五十五萬圓輸出ガゴザイマシタ、ソレカラ「ゴム」ガ六十八萬九千圓輸出ガゴザイマシタ、此ノ二ツガ増加致シマシタ爲ニ從來ノ一千五百三十三萬一千圓ト云フノガ五千九百七十七萬圓ニ増加致シタノデゴザイマス、少シ六月ニ入リマシテ數字ガ入リマシタノデスガ、全部放出致シマシタ數字ヲ書キマシタノデ、増加致シマシタ數字ヲ書キマシタ、合計ハ四千八百萬圓デゴザイマス

○委員(子爵秋元春朝君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ、御質疑ガゴザイヌセヌケレバ、次ニ皆様ニチヨット御諮リヲ致シタイト思ヒマス、極ク簡單ナ勅令デハゴザ

○子爵柳澤光治君 只今戴イタ表ノ數字ノ中デ、チヨット疑問ガアル

○委員(子爵秋元春朝君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ、御質疑ガゴザイヌセヌケレバ、次ニ皆様ニチヨット御諮リヲ致シタイト思ヒマス、極ク簡單ナ勅令デハゴザ

○委員(子爵秋元春朝君) 速記始メ、質疑應答モ大體御濟ミニナツタヤウニ考ヘマス、是カラ討論ニ入リタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○中山太一君 原案ノ承認ニ異議ガアリマセヌカラ、質疑應答ハ十分盡シマシタカラ、私ハモウ

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

○委員(子爵秋元春朝君) 討論ニ入リマス、意見ノ開陳ヲ御願ヒ致シマス

昭和二十一年八月二十六日印刷

昭和二十一年八月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局

政府委員
農林次官 楠見 義男君
商工政務次官 小林 錦君
商工事務官 吉田悌二郎君
岡村 武君

出席者左ノ如シ
委員長 子爵秋元 春朝君
副委員長 男爵渡邊 修二君
委員
侯爵池田 宣政君
伯爵柳澤 保承君
子爵柳澤 光治君
子爵交野 政適君
子爵稻垣 長賢君
男爵西 西乙君
男爵前島勘 一郎君
男爵田中 龍夫君

レデハ是デ散會致シマス
午前十一時五十二分散會
出席者左ノ如シ
委員長 子爵秋元 春朝君
副委員長 男爵渡邊 修二君
委員
侯爵池田 宣政君
伯爵柳澤 保承君
子爵柳澤 光治君
子爵交野 政適君
子爵稻垣 長賢君
男爵西 西乙君
男爵前島勘 一郎君
男爵田中 龍夫君